

金融商品専門委員会（公正価値測定）  
ディスカッション・ポイント

1. 前回委員会での決定事項及び専門委員会での審議状況

- 1) 前回（10/21）の委員会で、「論点」、「明確化」、「ガイドライン」に分類するという対応方針、「2011年5月の基準書化を目指す。先に、日本固有の論点から着手する」とのスケジュール案をご了承いただいた。
- 2) これを受け、11月16日、12月21日の金融商品専門委員会で議論を開始した。

2. ディスカッション・ポイント

専門委員会での審議を踏まえ、本日は以下を審議する。

【 論点 】 下記の対応要領でよいか？

1) 論点1 時価を公正価値との読替え。基準の適用範囲

No	コメント内容	対応要領
3	読替えでよいのか？ 問題ないことの確認	● JICPA と協議を開始。JICPA は、基本的には実務指針も読替の方針ではあるが、金融商品実務指針については書換えることも検討中。

2) 論点2 他基準の修正要否

No	コメント内容	対応要領
8	1 カ月平均相場の使用（金融商品会計基準） 決算日の前後一定期間の直物相場の使用（外貨建取引等会計処理基準）	● 平均相場は公正価値ではない ● 当面、「同平均相場の使用を認める」旨、本基準で明記する。
95	市場価格のない有価証券の減損処理	● 減損と公正価値は異なる ● 実質価額が減損処理として適切か、金融商品会計の見直しのなかで再検討予定
97	賃貸不動産の減損見積もり	● 減損と公正価値は異なる

【 明確化 】【ガイダンス】 添付のコメント対応案でよいか？

- 今回審議するテーマは以下の通り（番号欄を編みかけ）  
「公正価値の定義（含む 出口価格）」、「市場参加者」、「秩序ある取引」、「参照市場」、「評価技法」、「入力数値（考え方）」、「取引費用」

以上